サービス量の見込みに関する専門委員会の報告

令和5年度 サービス量の見込みに関する専門委員会 議事要旨

【開催日】

第1回 令和5年（2023年）6月 5日（月）

第2回 令和5年（2023年）8月25日（金）

【議事要旨】

第1回専門委員会における議論等に基づき、第2回専門委員会において事務局から以下の整備方針案を提案。委員からは、

- 以前よりも事業所の経営面への配慮が盛り込まれた内容である。
- ショートステイの特別養護老人ホームへの転換については、圏域や施設の状況を踏まえてバランスよく割り振るようお願いしたい。
- 小規模多機能型居宅介護事業所は重要なサービスであり、利用促進のためにサービスの特徴をもっと知ってもらう必要がある。
- 養護老人ホームについては、現場と区役所等との協議の場を設定するなど、現場の意見を聞きながら対応して行ってほしい。
- 今後の素案作成においては人材確保策に関する記載をお願いしたい。

等の意見があり、最終的に事務局提案の整備方針が了承された。

【第9期の整備方針】

入所系施設への待機者については一定期間で入所ができており、現時点において待機者解消のためにさらなる基盤整備を行う緊急性は低いと考えられる。

一方で、将来的な高齢者数の増加を見据えた計画的な基盤整備については進めていく必要があることから、第9期においては、高齢者数の増加に合わせて次のとおり整備を行うこととする。

第9期 介護サービス基盤整備について(事務局 案)

種 別	単位	令和5年度末 (予定)	第9期計画数	令和8年度末 (目標)
特別養護老人ホーム	床	2,542	103	2,645
うち広域型	床	2,024	103	2,127
うち地域密着型	床	518	0	518
介護老人保健施設	床	2,021	0	2,021
介護医療院	床	775	0	775
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	床	1,250	18	1,268
特定施設入居者生活介護	床	1,514	107	1,621
うち介護専用型	床	30	0	30
うち地域密着型	床	20	0	20
うち混合型(有料・軽費)	床	1,359	72	1,431
うち混合型(養護)	床	105	35	140
小規模多機能型居宅介護	事業所	50	2	52
看護小規模多機能型居宅介護	事業所	7	3	10
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	事業所	8	2	10
養護老人ホーム	床	440	0	440
軽費老人ホーム	床	697	0	697

※特別養護老人ホーム103床の内訳は、広域型特別養護老人ホームの新設(60床)、増床(30床)、ショートステイの転換(13床)。

※特別養護老人ホームの増床と転換については、地域密着型特別養護老人ホームでの整備分と併せて広域型に計上している。

※特定施設入居者生活介護の整備は、既存事業所の増床と住宅型有料老人ホーム等からの転換のみとする。